



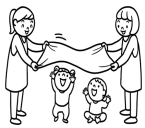
発行元 常滑市子育て総合支援センター
 (とこなめ市民交流センター内)
 常滑市神明町3-35
 TEL 43-4129 FAX 43-4136

しとねる

とこなめ子育て支援協議会

一年を通して、子育て支援の講座や親子遊び、医療の講座などを開催してきました。子育て中のお母さんたちの楽しさ、苦しさ、しんどさ等の生の声をたくさん聴くことができました。「子育て」って本当に大変なんです。楽ではないんですよね。頑張っているママパパたちのために、支援協議会としてどんな事を発信して寄り添えるかを日々考えて、今後も活動を盛り上げていきたいと思えます。どうぞ一人で悩んでいないで、ほんのちょっとした勇気を出してみませんか？私たちはそんな子育て中の方たちのお役に立てるよう努めていきたいと思えます。

とこなめ子育て支援協議会会長 山口 静



2019年度子育て支援講座の様子 -参加者アンケートより-



第1回 パパママのための楽育講座

11/1開催

～生きる力を育む勇気づけの子育て～

楽育インストラクター 鍋島美千子 氏
 共催 常滑市安全協働課

生きる力は、子どもが「自立する」「社会と調和して暮らせる」ようになることであり、心の中で子ども自身が「私には能力がある」「人々は仲間である」と思えるように、パパママが接することで、育まれていくというお話でした。子どもを勇気づける具体的な方法も教えてもらいました。

(感想)

- ・子育てに目標があるなんて、あまり考えたことがなかったので、なるほどと思い勉強になりました。
- ・日々の子育てに活かしていこうと思いました。いつもより温かい気持ちでゆとりをもって子どもと接することができそうです。
- ・楽しかったです。早速「ありがとう」「うれしい」「だいすき」「たすかるわ」を毎日シャワーのように言いたいと思えます。



第2回 親子でやってみよう♪

11/23開催

～作ってみよう！観てみよう！歌ってみよう～

子育て支援協議会

タコ取りおもちゃを作ったり、紙芝居を観たり、「66mothers」のバンド演奏で歌ったり踊ったりしました。劇団「主任児童委員」がルパンを演じてくれ、盛り上がりました。

(感想)

- ・迫力があってステージが楽しかった。工作も子どもが喜んで作ってくれたので、嬉しかったです。
- ・普段聞いている曲、踊っている曲がたくさんでよかったです。
- ・休日だったので、お父さんと参加できてよかったです。

第3回

子育ての視点から災害時の対応と支援を考える

～あなたは災害から自分や家族を守れますか！？～

藤田医科大学 特任教授 羽田道信 氏

共催 防災ボランティアリーダー会

避難行動のとりかた、非常時の持ち出し品、防災用具チェックリスト等大人の備えと、いざという時の子どもへの対応や支援についてお話していただきました。ゴミ袋で作る防寒着や新聞紙で作るスリッパ等身近にあるものを使って実際に作り方を教えてもらいました。

(感想)

- ・特別なものを用意しなくても日常生活で使用するものが役立つことがわかりました。
- ・子どもの成長に合わせて、防災バッグを見直そうと思いました。
- ・災害時公衆電話が無料で使えることは知らなかったです。



粘土と遊ぼう

お絵かきしましょ♪

市民交流センターのホールで月に一回、粘土遊び又はお絵かき遊びをしています



勇気つけて育てる

子育ておしゃべり会

月に一回、わいわいとおしゃべりしながら、対応に困った場面について、子どもを勇気づける方法を、探しています



～もしもしナーズを終えて～

子どもの医療部会



今年度も常滑市民病院のスタッフによる小児医療ミニ講座が7回開かれました。スキンケア、視覚健診、病気の時の食事、アレルギーについて、発熱、薬の飲ませ方、感染症、緊急外来のかかり方等、乳幼児の様々な症状への対応に加え、保護者に向けて乳がん、子宮がん検診、受動喫煙、予防接種についての話もしていただきました。個別の質問に答えてもらう時間もあり、乳幼児を育てているみなさんにはとても関心深い講座でした。

(感想)

- ・長時間のテレビやタブレットは気を付けようと思った。
- ・子どもの脱水は怖いということを、改めて気づきました。
- ・外食するときに、アレルギー反応を起こさないように、食べ物を選ぼうと思いました。
- ・薬入りのアイスを試食して、とてもまずくてびっくりした。
- ・上の子がけいれんを起こしたことがあるので役立ちました。
- ・健診の大切さがわかった。健診を受けに行こうと思った。



—お知らせ—

第16回子育て支援フェスタ
日時：令和2年5月16日(土)
9:30～13:00
会場：とこなめ市民交流センター
開催予定

子育ての不安や悩みを抱え込まず、親も子どもも笑顔で過ごせるよう いろんな場所に関わり合い、助け合える街 常滑でありますように。 情報誌部会長 加藤 さえ子